

# ～ティウロン村の笑顔を守りたい～

今 私にできること



マレーシア・ボルネオ島のサバ州にティウロンという人口100人程の小さな小さな村があります。

その村は水道がなく、雨水だけで生活をしています。

なかなか雨が降らない為 村の人々は川や池で体を洗い洗濯をしています。

生活の収入は農業となるのですが、雨が降らない為仕事がなく

お父さんは、愛する家族と離れ出稼ぎに行っています。

そんな村に、私はホームステイに行きました。



村の人々はとても歓迎してくれ、私に大切な宝物をプレゼントしてくれる女の子もいました。

お礼がしたいと思い、私の持ち物で何か欲しい物はないか尋ねたところ…

『何もいらない。あなたに会えたことが、何よりものプレゼントだ』と言ってくれました。

帰り際、ホームステイ先のお父さんと握手をすると、

その手の中にはお金が含まれていました。

日本円にすれば、数百円だと思いますが、

それほどまでに重みのあるお金を手にしたことはありません。

自分よりもきれいな服を着て、きれいな靴を履いている私に…

あなたなら 裕福に暮らしている相手にお金をあげようと思いますか？

ボロボロになった子供達の服を一枚買うことも出来ず、

生活に困っている人が裕福な日本人に、幸せを願ってお金を差出すのです。

私は涙があふれて受けとることが出来ませんでした。



私は、少しでもその村とサバ州にある小学校が住みよい環境になるように植林の為の募金活動を始めました。

300円あれば苗木を1本買うことが出来ます。

この募金活動を通じて集められたお金をNGO「オイスカ」の植林計画の協力を得て、現地に届けます。

一本の苗木からいくつもの実が実るように、たくさんの可能性を苗木に込めたいと思っています。

河合 亜紗比

募 金 先：郵便振替 00860-4-111215

加入者名：財団法人 オイスカ

通信欄に「ティウロン村の笑顔を守りたい」係り とご記入下さい



*Handwritten signature*